

日時：令和1年6月18日（火）20：00～

場所：ふれあい歯科ごとう

出席者（敬称略）：五島、羽賀、豊田、佐藤（雅英）、齊藤

（新宿区で薬剤＋栄養の問題を抽出）100例を設定

1. 食事摂取状況調査票：第3稿

（各項目についての検討）ケアマネさん目線でも聞いてみたい。

【ポイント】薬局：地域での生活、入院時のスクリーニングではないところ。

*アンケートだけ（処方抜きで）プレテスト4月下旬から5～10例やってみての意見

ケアマネジャー、薬剤師で単独のものだと照らし合わせができない。

ケアマネジャーと共同で行っている利用者とする。調査票はケアマネジャー、薬剤師各々で同じ利用者とする。ケアマネジャーと薬剤師の認識が違う。

狙っているものが取れるかどうか。聞き取り、情報量や接し方、重要視しているところがちがう。職種により把握している情報が違うのでそれはそれでよい。薬局で処方情報をつけるために、倫理委員会は通す。郵送やFAXでも良いのではないか。どういう基準で選んでいくか、終末期、PEG、TPNは除外する？高齢者ということで小児、若年は除外する。

（その他意見）チェック以外のコメントも書けるようにして欲しい。

孤立と独居はどうちがうの？解説がちょっと欲しい。

調理する環境、食事する環境：キッチンで食べる人が良いのか悪いのか分からない。→これがマイナスに影響していると思われるときにチェック

デイサービスでは食べるが、家では食べない。

弁当の中で嫌いなものを食べない→嗜好

食べられない理由を列挙したものである。

コンプライアンス良好なことを前提にして。→回答に困ったら、裏に解説をつけてみる。

フォーカスの倫理委員会に相談してみる。後ろ向き、調査で患者さんに不利益が被らないことがわかればよい（個人名を特定せずに、処方内容を紐づけする場合に何が必要か）。個人情報の方がクリアできれば行けるのではないか。フォーマットがあるか確認。

プレ調査でやってみたところの修正

2. 新食研×薬剤師×栄養士で冊子（リーフレット）

A) 薬剤師が栄養の意識を持たなければならない理由

（豊田先生による薬局薬剤師に知って欲しい栄養の話

：解説など。栄養状態を良くすることでかなりのことが防げるんじゃないか）

B) 患者さんが栄養の意識を持ってもらう

患者さんに意識して欲しい栄養の事→パンフレット、小冊子

また栄養士さん来たら考えましょう。

次回、この会「齊坊主ウイング（仮）」R1. 6月18日（火）20：00～